

各地の話題 山元町

2024年10月4日号掲載



地域おこし協力隊の二人～繋ぐ観光果樹園に取り組む～

令和6年4月から「山元町地域おこし協力隊」に任命された石川拓真さんと齋藤あきひさんは、山元町のフルーツ産地としてのポテンシャルに着目。令和8年6月の観光果樹園の設立を目指して活動している。

果樹園の設立については、ある思いを秘めている。2人は県の農業大学校の出身。就職活動の際に、果樹園への雇用就農を考えていたが、受け入れ先がなく、仙台市内の観光果樹園に就職した。自身の経験から「果樹園は家族経営がほとんどだ。果樹に興味のある学生の受け皿を作りたい」と話す。

山元町を選んだ理由を「町内産のリンゴの美味しさに感動した。東北地方では気候が温暖で、降雪量も少ない。様々な種類の果樹に取り組める」と2人は語る。

今後の目標を「町に果樹栽培を仕事にしたい人と観光客を呼び込み、人と人を繋ぐ園にしたい」と話す。

【記事提供】山元町農業委員会

石川さん（左）と齋藤さん（右）



現在は苗木の生育に取り組む二人

